

平成 22 年 6 月 15 日現在

研究種目： 基盤研究 (C) (一般)
研究期間： 平成 19 年 ~ 平成 21 年
課題番号： 19530521
研究課題名 (和文) 医療ソーシャルワーカーの学部教育プログラムに関する研究
研究課題名 (英文) Research on undergraduate education and training for social work
研究代表者 村上 信 (MAKOTO MURAKAMI)
淑徳大学・総合福祉学部・教授
研究者番号：90333260

研究成果の概要 (和文)：

わが国は急速な高齢化に直面しており、またそうした状況に連鎖する形で、医療・福祉サービスの提供体制においても変革が求められている。そうしたなかで、近年、「実践力」を有する社会福祉士の育成が求められている。したがって、今後は、実践力の高い社会福祉士をいかに育成し、そのための学部教育の独自性を、どのような形で具体化していくべきかという論点整理と明確化が強く求められるものと考えられる。こうした現状のなかで本研究を通して社会福祉士の学部内容については、ソーシャルワーカーとしてのコアの部分、すなわち信念や価値観を習得することをベースにおいた学部教育が重要であることが明確になった。

研究成果の概要 (英文)：

In recent years, it is necessary to provide not only the explanation of the concept of social work, but also the practical knowledge and skills for students in the social work course. However there is no evidence for the efficacy of educational program to support that trend. In the present study, we discussed about how to reform the current undergraduate educational programs which is suitable for practical work based on focus group interviews. As a result, it was clear to emphasize the importance of values and beliefs of social work to improve current education and training system.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
19 年度	1,800,000	540,000	2,340,000
20 年度	800,000	240,000	1,040,000
21 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会福祉

キーワード：医療・福祉、社会福祉教育

科学研究費補助金研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

近年、患者中心の医療が求められているなかで、単に疾病を治療するという観点ではなく患者のニーズに応じた医療サービスの提供が求められている。こうした患者のニーズに応じた医療サービスの提供は、医療行為からのみ構成されるのではなく、その他の患者に対する様々なサポートが当然含まれることになる。こうしたなかで、医療分野で働く社会福祉士もしくは医療ソーシャルワーカーは、患者に対して総合的なサポートを提供するという役割を担うという点において非常に重要な役割を担っており、今後、患者を中心とした医療サービスの提供がその理念にとどまらず実際のケアという形として求められていくなかで、その役割は一層重要性が増すことが考えられる。

このように、患者中心の医療の提供において今後ますます重要な役割が求められる医療ソーシャルワーカーであるが、患者のニーズに対してより適合的であり、かつ総合的なサポートを提供するための具体的な内容や方法に関しては、これまで明確なエビデンスが提示されてこなかった現状にある。さらに、患者に対して総合的なサポートを提供するためには、患者をとりまくその他の多くの専門職との整合性が必要であり、単に医療ソーシャルワーカーの知識的な側面を検討するだけでは十分ではないといえる。こうした状況は、教育・養成過程と現場での業務遂行における一貫性が欠如している現状を示しているものであり、今後は実際の現場での業務遂行に求められる統合的行動様式（コンピテンシー）にまで踏み込んだ検討が求められるといえる。

そこで、本研究の全体構想としては、患者を中心とした医療サービスを実現するために患者のニーズに適合的な医療ソーシャルワーカーの業務行為やサポート形態を医療

ソーシャルワーカーの統合的な行動様式にまで踏み込み検討するとともに、大学教育において可能となる教育内容の明確化を行うことにある。

2. 研究の目的

上記の全体構想をふまえ、本研究においては大学の学部課程を卒業し、医療ソーシャルワーカーとして医療機関などに就職をした新任（就職後1年から3年とする）の医療ソーシャルワーカーを対象として、実際の現場においてどのような問題に直面し、かつそれをどのような形で現場において克服したかに関して、質的側面より検証を行なった。こうした検証により、大学の学部教育課程における医療ソーシャルワーカーの養成における教育内容の中心軸の明確化を目的としたものである。

3. 研究の方法

N 大学および K 大学の社会福祉士養成課程を修了し、医療ソーシャルワーカーとして勤務して3年以内の卒業生に協力者を募り、本研究の目的を理解して協力を申し出た者に対してグループインタビューを下記の2回において実施をした。第1回目は、N 大学社会福祉学科の卒業生で現職の医療ソーシャルワーカー（卒後1～3年）9名を対象として、2007年12月に実施した。第2回目は、第1回目の一部の協力者、および K 大学医療福祉学科の卒業生で現職の医療ソーシャルワーカー（卒後1～3年）11名を対象として2008年3月に実施した。なお、研究協力者についての個人情報を守られること、また、あくまで自由参加であることを周知するとともに、グループインタビューの結果は研究の一環として報告することを説明した。

グループインタビューのファシリテータは、社会福祉士の学部教育を実践している専任の大学教員が担った。なお、具体的な内容については、事前に下記に示した議題を設定し、第1回目、第2回目ともに同様の議題を用いた。なお時間の制約上、1回目では議論内容1～5まで、2回目では1～6までのインタビューに関して行なった。

なお議題の詳細については、下記に示したとおりである。

- 議論内容 1

これまでどのような仕事（業務）をされてきたかに関して

所属機関・部署、仕事（業務）内容・期間、組織体制など

- 議論内容 2

就職してからの仕事（業務）で苦労したこと（していること）

具体的な仕事・業務に直接かかわること、かかわらないことなど

- 議論内容 3

問題点克服の経験

- 議論内容 4

苦労や問題点克服の際に模倣すべき先輩や上司の存在

（いなければ）どのような形で業務・仕事のモデルを想定してきたか

- 議論内容 5

現在仕事をすることに際して、在学中に学んでおきたかったテーマなど

- 議論内容 6

仕事・職場での満足感に関して

- 議論内容 7

医療ソーシャルワーカーと医療サービスの質に関して

4. 研究成果

近年、医療現場において求められている医療ソーシャルワーカーの業務内容を鑑み、「実践力」の習得とその向上を意図した学部教育の必要性が強く認識されている。そうした現場での即戦力を意識すると、学部教育においては、現場での経験を重視する視点が強調されよう。その一方で、経験年数の浅い医療ソーシャルワーカーは共通して自らの業務に対して「何をどうしたらいいのか分からない不安」を、一時期に体験している点が明らかとなった。その理由としては、ソーシャルワーカーの職務の専門性としての経験不足よりむしろ、学部教育においてソーシャルワーカーとしてのコアの部分、すなわち信念や価値観を大学において教育し、培うことの欠如が起因となっていることが考えられた。そのため、最終的に実践的能力を持ち、かつ具体的な状況に適合できる医療ソーシャルワーカー育成のための教育プログラム作成においては、実務的能力の獲得に目が行きがちであるが、それとともに、ソーシャルワーカーとしてのコアの部分、すなわち信念や価値観を習得することをベースにおいたプログラム作成が必要であることが浮かび上がった。本研究ではそのプログラムの具体的な構築まで至らなかったが、今後のプログラム作成に必要な有益な成果を得ることができた。本研究を踏まえ、引き続き研究を進める予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 3 件）
村上信、濱野強、藤澤由和、高齢者ケアマネジメントの現状と課題、新潟医療福祉学会誌 7(1). 2007. 43-50.

村上信, 濱野強, 藤澤由和. 社会福祉士の学部教育の方向性. 新潟医療福祉学会誌.8(2). 2008. 72-76.

村上信, 佐藤真由美, 濱野強, 藤澤由和. これからの医療ソーシャルワーカーの学部教育を考える: 新任ワーカーを対象としたグループインタビューを通して. 淑徳大学総合福祉学部研究紀要. 44. 2010.1-8. 2010.

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 1 件)

村上信, 熊谷忠和. 晃洋書房. 医療ソーシャルワーク 理論と事例検討 2008. 全 191 頁.

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

村上 信 (MURAKAMI MAKOTO)
淑徳大学・総合福祉学部・教授
研究者番号: 90333260

(2)研究分担者

藤澤 由和 (FUJISAWA YOSHIKAZU)
静岡県立大学・経営情報学部・准教授
研究者番号: 70387330

濱野 強 (HAMANO TSUYOSHI)
島根大学・プロジェクト研究推進機構・
講師

研究者番号: 80410257

小野寺 良二 (ONODERA RYOJI)
鶴岡工業高等専門学校・機械工学科・助教
研究者番号: 40460331

(3)研究協力者

佐藤 真由美 (SATO MAYUMI)
社会福祉法人つばめ福祉会
法人本部教育研修室・局員